

製造業の「現場」で活用可能な**実践的省エネ事例**を**徹底的に**！好事例を理解し、手足を動かす原動力に！

# 工場（製造業等）で“スグできる”省エネ事例解説

本講座のコンセプト：省エネの見方・攻め方が理解できたら、あとは「**ただひたすら、事例に学ぶ**」！

日時：平成24年1月20日（金）13:00～17:00

場所：関内中央ビル 10階 大会議室

（住所：中区真砂町2-22）

## 主な受講対象者

市条例において、  
・計画管理責任者 ・計画推進責任者  
に選任された（る）方

省エネ法における、  
・エネルギー管理統括者  
・エネルギー管理企画推進者の方等

意欲ある技術者の方はご参加を！

## 講座概要

「知っている」から「やっている」へのスムーズな移行のために——。基礎的な知識を踏まえた、着実かつ具体的な省エネを進めていくには、**「省エネ事例」を参考にすることがひとつの早道**です。特に工場などの製造業における事例は、これまで日本全国の工場で長年に亘り実践されてきた数多の省エネ事例が蓄積されていることから、これらを活用しない手はありません。

ただし、それらを活用するには「**どんなことに注意したらよいのか**」といった、**各事業所で実践するための要点を知っておかないと、宝の持ち腐れになってしまいます**。そこで本講座では、主として横浜市生活環境の保全等に関する条例施行規則第89条「第1号」該当事業者のうち産業部門の事業者（所）の現場技術者・管理監督者等を対象として、「**ひたすら事例に学ぶ**」研修会を実施します。主として**省エネ手法の汎用性が高いエネルギー供給設備（いわゆる“ユーティリティ設備”）について、熱利用設備・電気利用設備問わず、温室効果ガス削減+省エネ・省コストに繋げるポイント**をご説明いたします。

なお本講座では「**お金をかけない省エネ**」及び「**お金をかける省エネ**」の両面からご説明いたします。“できない理由を言う前に「できる方法を考える」”本講座をその手立てとしていただければ幸いです。

## カリキュラム

講師：（財）省エネルギーセンター  
エネルギー使用合理化専門員 村田 博 氏

※受講生の理解度等も勘案し、当日の講義内容が一部変更なる場合がございます。ご了承ください。

### 第1編 序論（プロローグとして）

・実効性ある省エネ改善とは ・省エネ対策を確実に推進するために ・省エネ対策のキーワード など

### 第2編 工場の省エネ事例解説

・ボイラ設備・蒸気の省エネ事例 ・汎用ポンプの省エネ事例 ・空気圧縮機の省エネ事例  
・受電設備・電動機の省エネ事例 ・生産設備の省エネ事例 ・照明・空調設備の省エネ事例  
・工場環境改善と省エネ事例

### 第3編 中長期的な省エネ改善の取り組み（まとめを兼ねて）

## 受講要領

募集人数：50名（無料）

1. 申込み方法
2. 申込締め切り
3. 申込み／問合せ先

下記の参加申込書に記入後、E-mail または FAX にてお申し込みください。

平成24年1月13日（金）**必着**

横浜市地球温暖化対策事業者協議会事務局 担当／土田、伊藤

〒231-0016 横浜市中区真砂町2-22 TEL:045-671-4103 E-mail:ks-jigyousya@city.yokohama.jp



未保温バルブの放熱量は莫大？  
（イメージ）

横浜市地球温暖化対策事業者協議会事務局 行

（切り取らずに送信してください）

申込日：平成 年 月 日

省エネ講座（第3回・①工場編）「工場で“スグできる”省エネ事例解説」申込書

【講座日時：平成24年1月20日（金）13:00～17:00】

E-mail:ks-jigyousya@city.yokohama.jp

FAX: 045-681-2790

会社名／事業所名／所属部署名

参加者氏名

同行者

名

※当日は本票の写しをお持ちいただき、参加票としてご提出ください。